

- R元年7/1まで日本語・英語で国内外から意見募集を実施（グローバルパブコメ）
  - 今後も追加すべき論点等あれば随時受付・検討
- (1) 日本版ナッジ・ユニットBEST としての全体戦略やロードマップの策定
    - 行動に起因する社会課題の解決のためのイノベーション戦略（仮称）
  - (2) 倫理的配慮の深掘り、「良い」ナッジ・「悪い」ナッジの検討
    - BESTの下にナッジ倫理委員会を設置（事務局：環境省）
  - (3) 日本のナッジの事例集作成、事例収集・紹介
    - 行動経済学会とのコラボによるベストナッジ賞コンテストを継続
  - (4) 地方公共団体の参考に資する行動インサイト活用の手引きの作成
    - ナッジ・ユニットの作り方も議論
    - 横浜市行動デザインチーム（YBiT）を主担当とする検討体制を構築
  - (5) 府省庁・地方公共団体を対象としたキャパシティビルディング
    - 環境省・内閣府・自治体のナッジ・ユニットやチーム、BEST有識者との連携によりセミナー・WS実施
  - (6) 国際連携・国内外への発信の強化
    - 5/24に国際シンポジウム「ナッジ・イノベーション・シンポジウムWISH」開催
    - 行政機関向けに加え、7月には市民向け・業界団体向けにも講演・説明会実施
    - 新聞各紙や業界誌の取材に対応
    - 9月にBehavioural Exchange 2019参加、各国行政機関やナッジ・ユニットと対話
    - ナッジアンバサダーを設置（個人及び団体）
  - (7) BI-Tech（行動インサイト x 先端技術）によるパーソナライズ
    - 成長戦略、統合イノベ戦略、AI戦略等の政府全体方針に位置付け
    - BI-Techを重点課題として環境省で実証事業の公募を実施。順次実正開始

